

ほけんだより

市川市立二俣小学校
保健室
令和元年 10月 29日



9月18日(水)に、市川市保健センターから歯科衛生士さんにお越しいただき、歯みがき指導を実施していただきました。

なぜ、毎日歯みがきをしなければいけないのか。

「口の中の病気にかからないよう、予防するため」です。

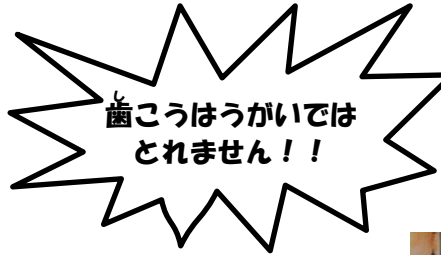
1. 口のなかの病気について知る。

歯の病気である「むし歯」と歯ぐきの病気である「歯肉炎」があります。これらは、歯のみがき残しによる「歯こう」が原因であることを勉強しました。



2. 歯のよごれをそめだす。

歯の染め出しを行いました。歯をみがくようにそめるのがポイントと知りました。みがき残しの部分(歯こう)は、ピンク色にそまりました。

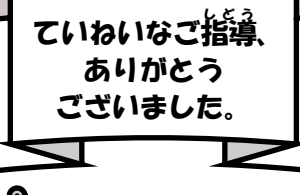


3. みがき残しを観察する。

前歯や奥歯、歯と歯ぐきのさかい目にみがき残しが多かったです。

4. 歯みがきの練習をする。

歯みがきのポイントを聞いた後に、歯みがきの練習をしました。



11月5日～8日は歯みがき週間です。
ていねいな歯みがきを心がけよう!!
歯ブラシ・コップをわすれずに★



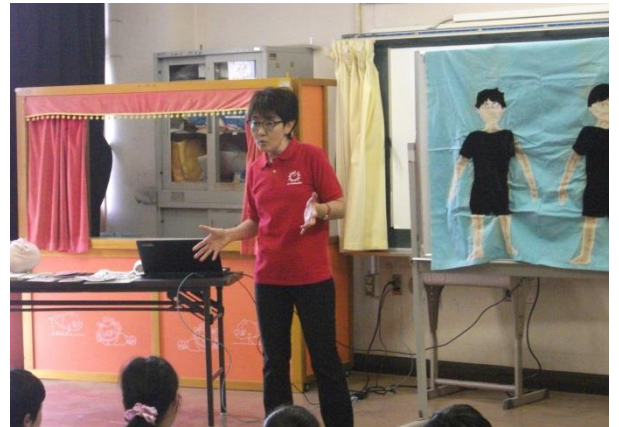
がっこうほけんこうえんかい おこな 学校保健講演会を行いました♪

10月15日(火)の5・6時間目に5年生が「人のたんじょう～いのちをつくりだす体になるということ～」をテーマに、助産師の加藤 睦さんからお話をうかがいました。助産師さんとは、「赤ちゃんを産むのを助ける専門家」です。男の人、女の人、体のつくりや赤ちゃんの誕生のお話を聞き、性の多様性、自分や友達の体のことを大切に思う気持ち、いのちの始まりについて学びました。5年生のみなさんからの感想を一部紹介します。



4年生の時に少しだけ言葉は教えてもらっていたけれど、今回いろいろな言葉を教えてもらえてよかったです。あたためることは知っていたけれど、足をひやさないようにすることは知りませんでした。動画を見て、赤ちゃんはちゃんと産まれる方法を知っていてすごいと思いました。命のきけんがありながら、私を産んでくれたお母さんに感しゃしいといけないと思いました(お父さんにも)。4年生の時、道徳のじゅ業でごせんぞ様のことを少し学んだけど、こうしてあらためて「ごせんぞ様が1人いなかったら自分はいなかった」と思うと自分が産まれることはとてもすごいことだと思いました。

ぼくは知らない命のことを知ることができたのでよかったです。男と女にはいろいろなとくちょうがあることがわかりました。自分が生まれてきたのはきせきなんだということがわかって、すごくびっくりしました。生まれたことに感しゃしたいと思いました。なかなか聞けない話が聞けてよかったです。自分が生まれてくるのは10時間くらいで出てきて、出るまでは時間がかかるのだと知りました。今日のお話を聞いてしょう来に生かしたらいいなと思いました。男と女には精子と卵子しかないと思っていたけれど他にもいろいろなことがあるのでとてもびっくりしました。とてもいい話を聞くことができて本当によかったです。



理科のじゅ業では、赤ちゃんがどのようにでてくるのかはやっていなかったもので、赤ちゃんが頭をちぢませて何時間もでてくるのに時間がかかるのがびっくりしました。そして赤ちゃんが生まれるためにはお母さんの力だけで生まれるのではなく、赤ちゃんの力で生まれるというところで、お母さんも産むのが大変だし、赤ちゃんも生まれるのが大変なので、2人とも命がけでやっているんだなとお母さんには感しゃしいかと思いました。女の子や男の子の体のしくみなどもわかってよかったです。助産師が健康な人なら助産師だけでも出産ができると聞いて助産師の仕事に少し興味がわきました。これからは健康に気をつけて自分の命を大切にしたいと思いました。



参加していただいた保護者の方の感想からは「参加して良かったです。」「子どもに接する態度も考えさせられました。」「勉強になりました。」といった声が寄せられました。子どもたちだけでなく、大人にとっても参考になるお話でした。次回はぜひ、参加してみてください。

